



## クラブ訪問

252

「こだわりの詰まった作品を」

### 中台小学校手芸クラブ

私たち「中台小学校手芸クラブ」は4～6年生の17人で、年7回のクラブ活動の時間に家庭科室で活動しています。

最初の活動でどんな物を作りたいか、みんなで意見を出し合い、今年度はマスコットやハンカチ作りに挑戦しています。手縫いはもちろん、ミシンも上手に活用していて、困った時は先生にアドバイスをもらいながら作品を仕上げています。



ミシンの扱いもお手の物



どの色の糸を使おうかな



かとう りお  
加藤 莉央 部長(6年生)

自分の好きな物をこつこつと作り上げていくのが楽しいです。自分が作った作品を通して、手芸の魅力をたくさんの人に知ってもらいたいです。

クラブの方針は「安全に楽しく」活動すること。手芸が初めての部員も多いので、ミシンやアイロンなどを使う時は上級生が気を配り、けがのないように活動しています。学年に関係なく仲が良いので、おしゃべりをしながら作業を始めますが、時間がたつうちに手元に集中していき、気付けば教室が静かになるくらい夢中になっています。

手芸の良いところは、自分の作りたい物を自分に好みに作れるところ。生地や糸選びから始まり、最後に入れる刺しゅうのデザインまでこだわり抜いて仕上げた時の達成感はひとしおで、作品にも愛着が湧きます。また、作品を家に持ち帰ると「上手にできたね」と家族から褒めてもらえるので、次への励みにもなります。

このメンバーでの活動も残りわずか。みんなで仲良く、自分だけの作品づくりを楽しみたいです。

# なかまと一緒に

250

「上達の秘訣は礼儀」

公津書道クラブ



技術と内面を磨ける仲間



毛筆か硬筆を選んで練習



作品に先生がアドバイス

私たち「公津書道クラブ」は毎月第1・3水・土曜日に、もりんぴあことうで活動している書道のサークルです。

メンバーの年齢層は幅広く、未就学の子どもから定年退職した大人までが一緒に活動していて、筆を使う毛筆と、鉛筆やペンを使う硬筆の両方を練習しています。毛筆と硬筆では道具の特徴やコツが異なるため、字を書くという行為は同じでも、片方が上手だからといって、もう片方も当然に上手とは限りません。書いた作品は先生に見てもらい、その場で毛筆と硬筆のそれぞれに応じた適切な指導を受けられるため、技術の成長を確認しながら練習できています。

手本をよく見て習い、急がずに落ち着いて書けば着実に上達できるのが書道でやりがいを感じるどころ。「止め・跳ね・払い」といった基本的なポイントのほか、字の大きさや線の太さ、墨の濃さなどにも気を使いながら一筆一筆を丁寧に書き上げていきます。また、メンバーはそれぞれ出来上がった自信作を毎回提出して昇段に励んでいるほか、年2回は全国規模のコンクールに応募して入賞を目指しています。

字は書いた人の人柄が表れるといわれることがあるように、私たちのサークルは、内面を磨くことも欠かしません。このため、一人一人があいさつやお礼の言葉といった礼儀を大切にしているのが特長です。これからも書道の腕前だけでなく、人としても成長を実感できる活動の時間を楽しみながら練習していきたいと思っています。

# スクスクのびのび



きのした さな 木下 紗花ちゃん

お食い初めしたよ！  
一緒にご飯食べようね(^^)



えんどう あかり 遠藤 灯ちゃん

1歳になりました！お姉ちゃんが大好きで追いかけて回しています☆



さとう りく 佐藤 凜空くん

よく喋ってよく笑う！  
いつも笑顔をありがとう(o^v^o)

このコーナーには市内在住で5歳までのお子さんの写真を掲載しています。お気に入りの1枚が撮れましたら、ぜひお寄せください。

○応募方法 お子さんの写真・住所・氏名(ふりがな)・生年月日・性別、親の名前、電話番号、30字以内のコメントを郵送またはEメールで広報課へ  
〒286-8585 花崎町760 成田市役所広報課  
koho@city.narita.chiba.jp (写真データはJPEGで容量1MB以上で送ってください)  
広報課 ☎20-1503

○応募先

○問い合わせ先

514